

脳圧測定検査

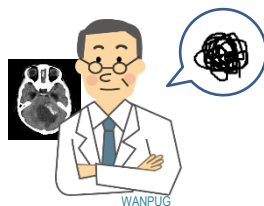


子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

脳圧測定検査とは

脳^{ずがいこつ}や頭蓋骨の病変などにより頭蓋内圧^{ずがいないうつ}(脳圧、ICPとも
言います)が上昇し、頭痛や嘔気、意識障害などの症状を
呈することがあります。

病変の確認は、頭部のCT検査やMRI検査により行わ
れますが、頭蓋内圧の上昇は、画像検査ではわかりませ
ん。



当センターでは、頭蓋内に圧センサーを設置し、直接
頭蓋内圧を測定する検査を行い、その後の治療を計画し
ています。

対象となる疾患

- 頭蓋骨縫合早期癒合症^{ずがいこつほうごうそうきゅうごうしやう} (狭頭症)
- 脳室拡大 (水頭症)
- 重症頭部外傷
- 脳梗塞^{のうこうそく}
- いろいろな脳症
などの疾患です。

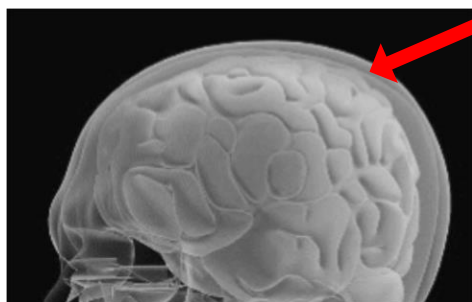


1 週間前後の入院で行います。



全身麻酔による手術で、
頭蓋内に圧センサーを設置します。
頭部に数 cm の傷が残ります。

センサーは、一般的に頭蓋骨内の^{こうまくがいくう}硬膜外腔*に
設置します。



*硬膜外腔：
頭蓋骨と硬膜との間、
硬膜(脳を守る膜)の
外側にあたります



測定は、手術後一般病棟で 2~3 日間行い、記録
します。記録されたデータを解析し、今後の治療に
ついて検討します。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<脳神経外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2017.4.改訂